



ご家族みなさんで
お読みください

ながおかの

ごみ改革

この情報誌では、長岡市のごみの現状や、ごみの減量とリサイクルを進めるための取り組みを紹介していきます。



長岡の環境キャラクター
ペギーちゃん

「生ごみ」分別はメリットがいっぱい

分別された「生ごみ」は発電などで100%利用!

生ごみは、紙おむつなどの発酵不適物を機械で取り除いた後、微生物の働きで発酵・分解し、発生するバイオガスを発電に利用しています。

発電した電気の一部は施設内で使用、余った電気は電力会社へ送電し、発酵後の残りかすも民間のセメント工場などの燃料として売却しています。

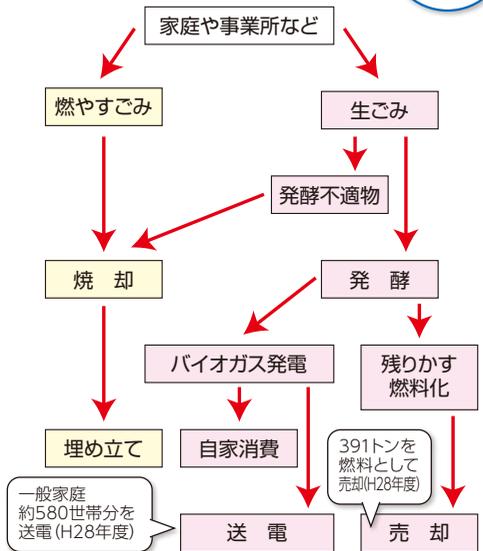
分別された生ごみを無駄なく100%利用し、「生ごみ」から新たなエネルギーが生まれています。

生ごみ分別のメリット

- ◎二酸化炭素の発生が減ります
地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生が、平成28年度は一般家庭の約160世帯分に当たる774トン削減されました。
- ◎最終処分場の寿命が延びます
燃やすごみが減ることで焼却灰が減り、灰を埋め立てる最終処分場の延命につながります。



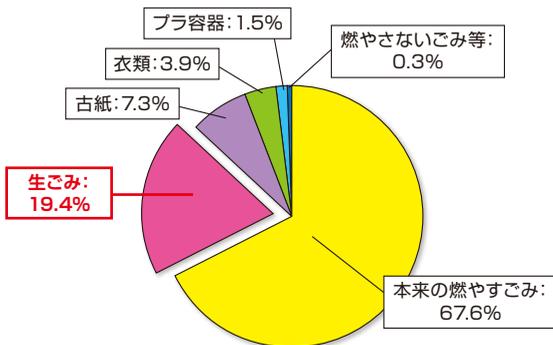
「燃やすごみ」と「生ごみ」の処理の流れ



●「燃やすごみ」として出された約2割が「生ごみ」

「燃やすごみ」として出された袋を抽出して調査したところ、生ごみとして分別できるごみが約2割混ざっていました。

できるだけ分別して、「生ごみ」の収集日に出しましょう。



▲「燃やすごみ」として出された内容(重量の比率)
家庭から出された「燃やすごみ」を市が抽出して調査

世界からも注目! 長岡の生ごみ処理

ロシアのハバロフスク市長やビジネス関係者が、先進的なごみ処理技術を学びたいと視察に訪れました。

生ごみの利活用が目玉となっており、国内外から延べ1万2千人がバイオガス発電センターを訪れています。

